

文芸の世界

川柳
(575)

台所せつせと働く母の背な
人の縁何時か他人も親戚に
雨の日の退屈紛らす花を活け

三上 翠香

裏庭の手入れに余念ない夫
無意識にとった行動反省す
母のふところ父の分まで温かった

嵯峨 待女

川柳愛好会
七月例会作品

田舎道他人の噂が風に乗る
人間像広いふところ頼もしい
宙返り梅雨の晴れ間のつばくらめ

深渡 汀女

無意識の意識はたらく夢の中
一筋に仕事に生きて老い早し
裏表あって人間らしく生き

佐藤 秋峰

温かい言葉もらって懐に
ストレスに追い打ちかける雨が降る
裏の顔おもての顔と見比べる

加差野 静浪

ふところが淋しく軽く笑えない
三分で他人行儀がギブアップ
足の裏ポッカー見ええたほつれ穴

稲村 綾子

猛打賞またかとクラブ握ってる
ふところにひとつふたつはある秘密
雨風に耐えて転ばぬ葱坊主

川代 三智男

「山や畑がおれの生きがい」

十文字俊夫さん (77歳・黒崎)



「山や畑がおれの生きがい」

《239》

☆…十九歳のとき徴用で横須賀(市)にいきました。たが、仕事といえは戦争で壊された船を来る日も来る日も修理すればありで、食いもんもろくべにもらいつけなごさんすたつた。☆…終戦になって、普代にもどってきたのが二十三歳、すぐに定置網さかだつて稼ぎますたが、六十五歳の定年になるまでざつと四十二年間、勤めだがんすつ。☆…子どもは全部で五人持っています。東京(都)に長女と次女が、孫は二人。まあ、みんなそれぞれ頑張つてけています。☆…おれの今の楽しみは、山さ行つたり、畑に野菜をまいだり、家(自宅)のがいぐるつに花を植え、草どりんどうをすんごどだ(笑)。

三陸鉄道・新社長に竹澤氏 はじめまして



三陸鉄道株式会社社長の竹澤久嗣です(写真)。

私は、山深く温泉と雪の多い岩手県の湯田町出身です。以前から海辺の生活にあこがれを抱いておりました。思いがかなって今は、おいしい海の幸に囲まれてうれしい日々を送っています。

三陸鉄道が開業して、今年で18周年を迎えることができました。三陸鉄道は、生活路線を基本としながら、イベントなど幅広くご利用いただいております。今年の秋は、番屋風のお座敷車両を製作し趣向をこらした列車の旅を計画します。いよいよ12月には東北新幹線が八戸まで延伸となり、三陸地域にも多くの観光客が訪れるものと期待しています。

社員一同、地域交通の要として、皆さまの足として頑張つて参ります。ご支援お願い申し上げます。